

日光国立公園



日光国立公園ステップアッププログラム2020 概要版①

環境省の「国立公園満喫プロジェクト」の8つの先導モデル地域の一つとして、**日光国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化**し、外国人観光客の誘客を図る。

1. 計画期間

2016(平成28)年～2020(平成32)年の5箇年

2. コンセプト(基本概念)

NIKKO is NIPPON

自然・歴史・文化 美しい「日本」を感じられる
東京圏のプレミアムリゾート

- ① **上質で奥深い魅力**を満喫できる国立公園
- ② **体験・潜在・周遊型**の国立公園
- ③ **低炭素・循環型を実現**する国立公園
を目指した取組を実施

3. 数値目標

◆訪日外国人利用者数

2015(平成27)年

19万人

2020(平成32)年

50万人

◆訪日外国人宿泊者数

2015(平成27)年

9.6万人

2020(平成32)年

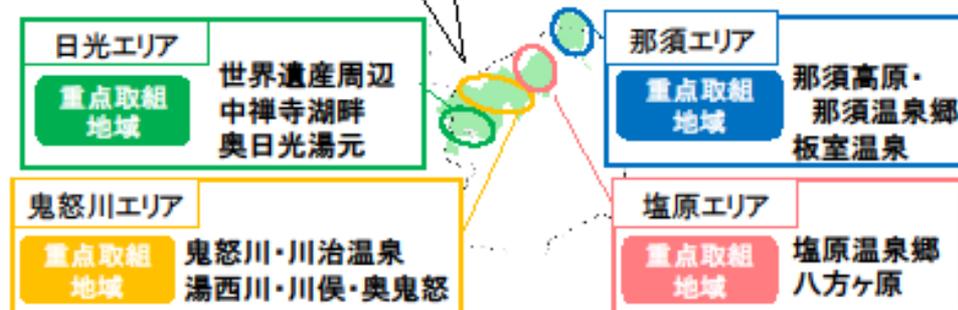
25万人

4. プロジェクトの実施

- 自然公園施設の整備(案内標識の多言語化、トイレの洋式化)
- 案内機能の強化(自然ガイド育成研修、ビジターセンター機能強化)
- 観光資源の磨き上げ(冬季のメニューの充実、レンタサイクル整備)
- 交通アクセスの改善(公共交通の多言語化、パーク&バスライド)等

取組案
の例

◆日光～那須を結ぶ横断バス(日光那須満喫ライナー)の運行
等



重点取組地域を中心に取組を推進

⇒来訪者の多い**欧米系個人旅行者を中心に誘客**しながら、
増加している**アジア市場も開拓**



地域ごとに推進体制を整備し、**官民が一体となって取り組む**

今回ご紹介する取組

- 1 ビジターセンター等への**カフェ導入**試行
- 2 自然体験ガイドの育成・資質向上のための**ガイド養成事業**の実施

カフェ導入試行 ①

対象施設

那須平成の森フィールドセンター



カフェ導入試行 ②

主な前提条件

- 1: 施設内部には、カフェ利用可能なスペースなし
- 2: **上下水道なし、火気使用禁止**
- 3: 施設管理者とは別に新たにカフェ事業者を導入

カフェ導入試行 ③

法律上の整理

1: 自然公園法(公園事業)

→ 既執行の公園事業の一環として実施
(環境省とカフェ事業者で協定を締結)

2: 国有財産法

→ 特に収益行為として占有する部分(カウンター)のみを使用許可

3: 食品衛生法

→ 施設全体の管理者である環境省より
「臨時出店届(年間5日以内)」を提出

カフェ導入試行 ④

その他、工夫した事項

- 地元在住クリエイターによる
コンセプトデザイン
- **組み立て式カウンター**の作成
- **住民参加ワークショップ**形式
によるテーブル等作成
- **収益**の施設管理への**還元**



カフェ導入試行 ⑤

試行結果

第1回： 6月25日（日曜日）

→ 社会福祉団体
コーヒー等、クッキー
来館者の約3割が購入



第2回： 紅葉時期（10月8,21,28日）

→ 地元カフェ事業者（公募）
コーヒー、ハーブティー
コーヒー豆等
来館者の約2割が購入



カフェ導入試行 ⑥

主な課題

- 1: カフェ事業者の選定方法
→ 公平な募集、かつ地元貢献、安全確保
- 2: 収益判断
→ 営業可能日数と来客数、実施に係る
労力等を踏まえた損益分岐点の判断
- 3: 効率的な運用方法の検討
→ 販売、休憩スペースの確保
- 4: 周辺事業者からの理解

カフェ導入試行 ⑦

他施設の取組（検討段階）

■ 日光湯元ビジターセンター

- レクチャールーム改修、デッキ整備
- 食品衛生法の手続きが不要となる
簡易な提供方法
- 既存運営団体による飲料提供
- より本格的なカフェ提供は、近接する
民間施設へ誘導

自然ガイド養成研修の実施

ガイド養成 ①

主な目的

- 1: 既存ガイドの能力向上
- 2: 新規ガイドの育成



ガイド養成 ②

ガイド技術研修会の実施

- ・那須平成の森フィールドセンター
((公財)キープ協会)
- ・日光国立公園内で活動しているガイド、
もしくは活動しようとする者を対象

ガイド養成 ③

研修実施経過



- H28年度 第1回(基礎編)
- H29年度 第1回(基礎編)
第2回(ステップアップ編)

※ いずれの回も3日間、20名募集

ガイド養成 ④

今後の予定

- 全体で4年計画（現在2年目）
- 目標：各ガイドが自作プログラムでガイド出来るようになること



ガイド養成 ⑤

主な課題

- ・継続的な実施
- ・多言語対応
- ・育成したガイドの組織化等
登録、紹介制度？
認定ガイド化？
ガイド協会設立？

ガイド養成 ⑥

今後の進め方

・ガイド組織化等の検討

